

図書館を使った調べる学習コンクール No.2

組 番 氏名

～レポートの形式について～

テーマ (表紙)



もくじ



調べたわけ



予想



調査方法



テーマは具体的に！

× ~について → ○ なぜ～なのか？

どうして～になったのか？

(例) 縄文時代の野々市はどのような様子だったのか？

なぜイチロー選手の生き方は人の心を動かすのか？

僕に必要な睡眠時間はどれくらい？

老人が暮らしやすい町にするには？

図書による調べの他に、実地での観察や実験・インタビューなどがあってもよい。

また、統計がなければ自分でアンケートをとることも考えられる。

インターネットなどによる情報は、図書で裏付けをとる。

図書も、複数の資料で総合的に調べる。



わかったこと = 事実

そのまま本文を書き写すのは×…著作権違法になります

引用する場合「」をつける

要点をまとめて書く

考えたこと

「事実」と「考え」
をわけて書く

写真・図・グラフも
入れよう

自分の考えを、

具体的に、詳しく書く。

- ・自分の生活と結びつけて書く
- ・予想と違っていた点を書く



まとめ

おわりに (感想)



参考文献 (出典一覧)

調べるときに利用した資料名や出版社名を必ず書く。

注意点

※1枚に1つのことを書きましょう（見出しをつけると中身がわかりやすい）

※サイズはA4用紙 白紙

※ページ数は50ページ以内（テーマ、もくじ、参考文献を除く）

※用紙は片面を利用（色移りを避けるため）



図書館を使った調べる学習のヒント・例

国語	<p>1・一つの昔話に焦点をあて、それに関連することを深く調べていく。 例：「桃太郎」あらすじ なぜ犬と猿とキジなのか 全国に残る桃太郎伝説について 桃太郎のその後を自分で創作してみる など</p> <p>2・方言について調べる 例：「ありがとう」などの挨拶に焦点をしほる 「物の名前」に焦点をしほる 「動作」に焦点をしほる →どういう結果になったか、どうしてその地域だけその言葉 なのか（背景）を考察する。</p> <p>3・一人の作家に的をしほって調べる。 例：その人の生涯、生き方 作品の分析（作品の傾向や最も伝えたいこと） 自分が気に入った作品や、その中の言葉を紹介 など</p> <p>4・その他・漢字のなりたち、ものの考え方（共通点をさがす、なぜその考え方をするのか） 名言→それを言った人の生き方、なぜその言葉ができたのか考える 故事成語とその由来・時代背景</p>
社会	<p>歴史：歴史上の人物を一人または数人取り上げ、年表や資料を交えてその人物について紹介し、考察する。</p> <p>地理：さまざまな国や地域について、地図などの資料を使ってガイドブックや観光ポスターのようにして紹介する。複数の国や地域を比べるのもよい。</p> <p>公民：現代社会について、ニュースや教科書の内容などを参考に興味ある分野について調べ、考察する。</p>
数学	数学に関する本を探して、レポートを作成する。本に載っている内容を参考にして、数学の問題を作成してみる。
理科	何か一つのジャンルにしほって、その歴史的な意義や研究の流れなどを調べる。 例：遺伝 発光ダイオードができるまで 化学の歴史 空気の発見の歴史 光合成発見の歴史 遺伝子がDNAだとわかるまで 宇宙 など
英語	授業で扱ったフェアトレードについて・違う国の文化について（食、衣服など）レポートを作成する。英文で紹介記事を書いてみる、など。
体育	自分の好きなスポーツや体育・保健に関わる内容について深く調べる。 例：野球…いつ頃、どこで、誰が始めたのか どうやって日本に広まったか など オリンピックを知る…オリンピックの始まり、種目など 健康な体づくり
音楽	作曲家調べ…その人生と代表曲など 楽器調べ…種類、演奏法など 有名演奏家の個人史など
技術 家庭	技術：環境やエネルギー問題に関するこ と 技術がどのように発展してきたのか 伝統的な技術や建造物のしくみ など その他、工業・農業などに関するこ 家庭：スポーツをする人のための栄養学 スポーツ貧血とは 血液がさらさらとは？ 砂糖のとりすぎは体にどう影響するか など
美術	自分のお気に入りの美術作品が、どの国の何という美術館にあるか調べ、地図の中に落とし込む。そして、作品を見に行くための旅行計画を立ててみる。